

●会期:1月21日(水)~26日(月)

備前 森 泰司・敏彰 作陶展



森泰司「花入」W10×D16.8×H27cm

森泰司先生は1947年備前焼窯元六姓 寺見家の直系 森宝山氏の長男として生まれ、国内外の公募展にて受賞を重ねていらっしゃいます。1982年生まれのご子息、敏彰先生の作品を加え、焼成技法にこだわり2度3度焼成する備前焼の魅力をご高覧ください。

●会期:1月28日(水)~2月2日(月)

ー日本ー HINOMOTO Ⅲ 奥谷 博展 藝術無終〈洋画〉

奥谷博先生は、1934年高知県の出身、東京藝術大学美術学部専攻科(油画)を修了後、独立展を中心に発表を重ね、「日本人の油絵とは」という慧眼にして、自国の自然美や日本人の持つ死生観、或いは家族へのまなざしなど、日本人の独自の美を追求されてこられました。「私にとって絵を描くことは、生きることだ。」と語る、文化功労者にして、文化勲章を受章された奥谷博先生によるHINOMOTO(ヒノモト)にこめられた祈りの言霊を一堂に展覧いたします。



「HINOMOTOーひなみち潮」
181.8×227.3cm
(150号F)キャンバス・油彩

■奥谷博先生による ギャラリートーク

●1月31日(土) ●午後3時から
※ギャラリートークに関する情報は
横浜高島屋ホームページをご確認ください。

2月の予告

●会期:2月4日(水)~9日(月)

植葉 香澄 展〈陶芸〉／細迫 諭 展〈洋画〉

●会期:2月11日(水・祝)~16日(月)

日本ガラス工芸協会 表現するガラス展／高橋 美美子 展〈日本画〉

●会期:2月18日(水)~23日(月・祝)

野口 満一月 展〈日本画〉／徳丸 鏡子 展〈陶芸〉

●会期:2月25日(水)~3月2日(月)

佃 眞吾 展〈木工〉／三谷 慎 レリーフ展〈彫刻〉

ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

横浜高島屋美術画廊のご案内

1月

January 2026



「志野茶碗」W13.0×D12.4×H11.4cm

●会期:1月14日(水)~19日(月)

人間国宝 鈴木 藏 展〈陶芸〉

◎美術画廊は毎週火曜、会場準備のため閉廊、最終日は通常通り営業いたします。

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・
展覧会のご案内

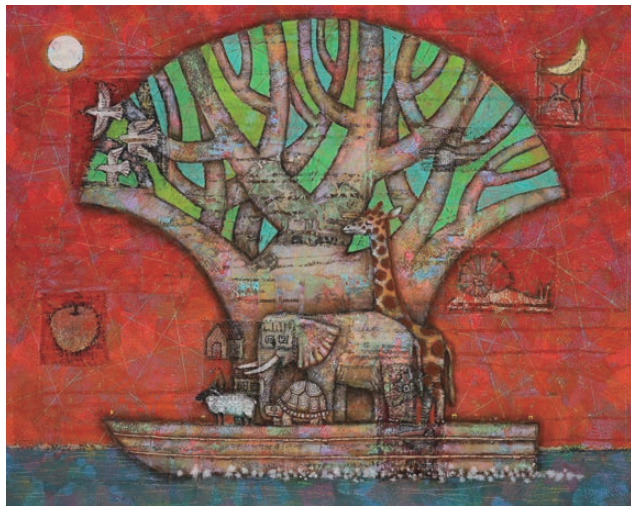


横浜高島屋美術画廊のご案内は
【公式】横浜高島屋美術画廊
のInstagramでも
ご覧いただけます。



●会期:1月7日(水)～12日(月・祝)

金丸 悠児 展 ― 時を運ぶ者たち ― 〈絵画〉



「セイメイの方舟」72.7×91.0cm (30号F) ミクストメディア

1978年神奈川県出身。東京藝術大学デザイン科卒業。動物モチーフを中心に、柔らかな筆致と繊細な色の重なりを駆使し、独自の乾いた空気感やノスタルジーを感じさせる絵画世界で人気を博しています。今展では、これまでの技法をさらに発展させて挑んだ新作を含む、静謐で温かな幻想的な作品たちを展覧いたします。

■金丸悠児先生によるギャラリートーク ●1月10日(土) ●午後3時から
※ギャラリートークに関する情報は横浜高島屋ホームページをご確認ください。

広沢 葉子 硝子展



「静謐な冬の孔雀は西を向く」W28×D28×H14cm

長野県生まれ、神奈川県で育つ。東京ガラス工芸研究所を経て、アメリカ・ピルチャックガラススクールで学び、その後、ロチェスター工科大学ガラス科に留学。1996年、山梨県にガラス工房を設立されました。吹きガラス技法による柔らかなフォルムと優しい色彩が魅力で金箔・銀箔を用いた装飾が施された茶器や器が好評を博しています。バルシヤや更紗を思わせる文様を取り入れつつ、日本の暮らしに馴染む風合いのガラスをご高覧ください。

●会期:1月14日(水)～19日(月)

人間国宝 鈴木 藏 展〈陶芸〉



「志野茶碗」W13.9×D13.8×H9.8cm

1934年岐阜県土岐市に生まれ、この地で焼かれた「志野」の研究と制作に邁進してこられました。常に時代に即した陶芸の在り方を模索し、桃山の原点を踏まえながらも古陶の形式に拠り所を求めることなく、「現代の志野」を追求しておられます。1994年には「志野」の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。昨年は文化功労者として顕彰され、卒寿記念として開催された「人間国宝 鈴木藏の志野展」は、国立工芸館をはじめ全国5か所の美術館を巡回し、多くの来場者を魅了しました。本展では、力強さと格調の高さを併せ持つ志野茶碗を中心に、瀬戸黒茶碗や花器などの作品群を一堂に展覧いたします。

●会期:1月21日(水)～26日(月)

加来 万周 展 ― 光 ― 〈日本画〉



「嘉祥富士」37.0×89.6cm (30号変形) 紙本彩色

1973年熊本県出身。1999年東京藝術大学大学院修士課程修了。現在、日本美術院 特待。師である手塚雄二先生を彷彿させる大胆な構図と繊細で奥深い色彩による荘厳で美しい画風が魅力です。4年ぶり2回目となる今展では、自然の神秘や草花の息吹を感じさせる風景や花々を中心に院展出品作を含む20余点を一堂に展覧いたします。